



例会場 仙台国際ホテル  
例会日 毎木曜日 12:30~13:30  
事務所 〒980-0021  
仙台市青葉区中央四丁目 6-1  
TEL. 223-3652 FAX. 223-3662  
メールアドレス sendaisr@star.ocn.ne.jp  
会長 山家 雪雄  
副会長 岩松 正記、高木 信三  
幹事 大江 広満  
プログラム 佐々木利晃 武田 文孝 早坂 慎一  
情報委員会

2020-2021年度 (No.20) 第3049回 例会 (令和2年12月17日)

前回の報告・今週のお知らせ

本日の予定

「年忘れ親睦会」  
\*年次総会

次回(1月7日)の予定

「年頭挨拶」

~休会のお知らせ~

12月24日 クラブ定款第7条1-dにより  
12月31日 年末年始休会

出席率 クラブ会員数46名

11月19日 67.39%  
12月 3日 58.70%  
12月10日 69.57% (12月16日現在)

予定

12月24日 休会 (クラブ定款第7条1-dにより)  
12月31日 休会 (年末年始休会)  
1月7日 定例理事会  
1月12日 合同幹事会

☆クラブ事務局冬期休暇

12月26日(土)~来年1月4日(月)

前回のゲスト(12月3日) (敬称略)

伊達政宗研究家・元仙台市博物館長 佐藤憲一

前回のビジター(12月3日) (敬称略)

なし

今年度ニコニコボックス状況

前回の合計額 11,000円  
今年度累計額 347,000円

ニコニコボックス

星 毅会員:6日のガバナーエレクト激励会無事終了致しました。ニコニコです。  
和田 達雄会員:寒いですね~。寒さにニコニコ。  
山家 雪雄会員:仙台藩士会でもお世話になっております。佐藤先生、楽しみにしておりました。本日は伊達政宗研究家としての秘話をも含めて宜しくお願いします。  
大江 広満会員:佐藤憲一様、本日の卓話楽しみにしています。  
堀川 順弘会員:海外でワクチン接種始まりました。早くコロナ終息を願っております。RLI研修12日と19日頑張ります。全員で31名です。

12月 「疾病予防と治療月間」

12月ロータリーレート 1\$=¥105

「文化人、政宗 ー趣味と教養ー」

伊達政宗研究家・元仙台市博物館長 佐藤 憲一 様

伊達政宗（一五六七～一六三六）は武将であると共に、豊かな趣味と教養を身につけた文化人でもあった。和歌・狂歌・連歌・漢詩・随筆・紀行・書など古典を学ぶだけでなく作品も多い。特に漢詩まで作っている戦国武将は珍しい。和歌の心得なきは武人の恥、と言われるように和歌は誰でも作ったが、漢詩まで作ったのは武田信玄・直江兼続と伊達政宗くらいである。信長・秀吉・家康などはほとんど漢詩を残していない。政宗が漢詩を愛したのは師である虎哉和尚の薫陶（漢詩文）の賜物だろう。

政宗の文芸面の作品で注目されるのは「菊花図屏風」「萩に鹿図屏風」（いずれも仙台市博物館蔵）。政宗が晩年棲家とした若林城の襖絵とされるもので画面一杯に描かれた絵画の余白に政宗自ら筆を執って和歌や漢詩を散らし書きしている。和歌は「古今和歌集」「新古今和歌集」などから撰んだもので、自作の漢詩も入っている。墨の濃淡、文字の大小、仮名と漢字がリズムカルに配置され、静かな画面に動きを与えている。まさに書画一体の美。公家ならいざ知らず、武将として稀有な才能である。

政宗は能筆（能書）として知られ、生前から他家で掛物にされた程である。また、筆まめで沢山の手紙を残した。自筆の手紙の多さでは戦国武将中随一と言ってよい。手紙によるコミュニケーションは家族・家臣・友人らとの絆、信頼関係強化に役立った。

文芸以外でも沢山の趣味を有した。茶の湯・香・能楽など。また、鷹狩・川狩なども愛した。家臣たちと泊りがけで狩りに出かけた記録が残ってい

る。花鳥風月を友とし、鶯や杜鵑の初音を楽しみとした。政宗が最後の参府で仙台を発つとき杜鵑の初音に執着した話は有名である。草花を愛し、白萩や白藤の株分けを所望した手紙もある。

政宗の人生を見ると交友関係の広さに驚く。武将は勿論であるが、皇族や公家、僧侶、町衆、学者などに及んでいる。豊かな趣味と教養を通して得られたものだろう。幅広い交友（人脈）は豊かな情報をもたらす。豊かな情報が政治力・外交力であることは昔も今も変わらない。それは困難な時代を生き抜く力となったはずである。

政宗が生きた時代は戦国末期、動乱の時代から、近世平和の時代への転換期であった。天下が豊臣から徳川へと移るこの時代、多くの武将が途中で倒れていく中で政宗は様々な困難・危機を乗り越え仙台藩62万石を築くことができた。力では秀吉や家康にかなわなかったが、精神世界、心の豊かさでは政宗は二人に負けていなかったのではないか。政宗が身につけた深い教養と豊かな趣味は、天下人とわたりあっても決して気後れすることのない矜持となって政宗を支えていたと思われる。62万石の殿様と比較はできないが、趣味を持つことの大切さ、趣味を生かした仲間づくりの大切さを教えてくれていると思う。コロナ禍の現在、困難な時代だからこそ“心のゆとり”が苦境を救う良いアイデアを産むことを信じたい。



本日のMENU：特別洋食

《オードブル》Fondant de chou-fleur et méli-mélo de thon, Amaebi au Wasabi, carpaccio de navets  
カリフラワーのフォンダンに塩竈ひがしものと甘海老のメリメロ本山葵の香り  
天蕪のカルパッチョとともに

《スープ》Flan de navets et soupe de bacon, épinards, magarinegi  
蕪のフランに仙台曲がり葱, ちぢみほうれん草, ベーコン入りスープ

《お肉料理》Contre-filet de bœuf grillée au jus et moutarde au moût de raisin  
Gratin de Satoimo et beignet de Renkon  
国産牛ロース肉の網焼き グレービーソースとヴァイオレットマスタードを別添えて  
熱々里芋のグラタンと蓮根のベニエを付け合わせに

《デザート》“Noël” fraises aux pistaches  
”ノエル” フレーズピスターシュ

《コーヒーと仏蘭西小菓子》“Noël” fraises aux pistaches  
《パン》Pain et beurre

